

## 地域公共交通網形成計画の作成に向けて

### ◎なぜ今考えないといけないのか？

- 日本の公共交通は、事業者主導で確保・維持されてきました  
利用者が増少 → 採算が悪化 → 路線の縮小・廃止
- 「事業」である以上、「あって当たり前」ではありません
- 各自でお考えください
  - ・公共交通がないと、地域は、住民は、不都合でしょうか？
  - ・いまある公共交通がどう走っているかご存じですか？
  - ・その公共交通に「ありがたみ」はありますか？
- 地域公共交通とは（法律の規定）  
地域住民の日常生活、社会生活における移動のための交通手段  
観光旅客や来訪者の移動のための交通手段
- 平成 19 年に、地域のことは地域で考えられる制度ができて 10 年以上経過し、全国各地で取り組みが広がっています（H30.3 末で 410 件）
- タイミングは地域の事情によってまちまちですが、地域や利用者が“ありがたい”と思える公共交通を考えるツールになります

### ◎どう考え、考えたらどうするのか？

- 公共交通を考える際には、住民、利用者、交通事業者、公安委員会、行政など様々な立場の方がいます → だからこそ、協議会で議論できます
- 公共交通は場当たりな対応はできないので、検討結果の実現に向けて計画的に進めることが必要です
- 事業の採算が取れない以上、効率的・効果的に行わなければならないのでネットワーク（網）で考え、「書き物」（計画）に残す
- 協議会で議論はしますが、法律における作成者は自治体です  
コンサルタントが作る訳ではありません
- 「単に書いただけ」「“検討する”を羅列」はNGで、地域の方が読めて行動できてこそ「計画」と言えます

この協議会では、地域で公共交通を考える機会が設けられました。何が問題か明らかにして、将来的にありがたいと思える公共交通について考えましょう